

在宅医療・介護連携に関するアンケート（介護保険サービス事業所）

回答者（事業種別）		回答数	構成比	
1	居宅介護支援事業所	0	0%	
2	通所介護事業所	21	23%	
3	通所リハ事業所	5	5%	
4	訪問リハビリ事業所	22	24%	
5	訪問入浴介護事業所	1	1%	
6	訪問看護事業所	9	10%	
7	訪問リハビリ事業所	3	3%	
8	福祉用具貸与・販売事業所	3	3%	
9	短期入所生活介護事業所	6	6%	
10	短期入所療養介護事業所	2	2%	
11	認知症デイ事業所	1	1%	
12	認知症グループホーム事業所	7	8%	
13	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0%	
14	地域密着型介護老人福祉施設	4	4%	
15	小規模多機能居宅介護	0	0%	
16	地域密着型通所介護	4	4%	
17	介護老人福祉施設	3	3%	
18	介護老人保健施設	1	1%	
19	介護療養型医療施設	1	1%	
20	地域包括支援センター	1	1%	
		計	93	100%
★	ケアマネジャー（45事業所）	28		

■対象票数は事業所ケアマネアンケートを入れて182。うち有効回収票数は122、回収率は77.2%。居宅介護支援事業所（ケアマネ用アンケート）と施設系事業所の中にいるケアマネへのアンケートが判別できるようにしていなかった為に居宅介護支援事業所単体での回収率は抽出できていない。また、地域密着型特定施設入居者介護や小規模多機能居宅介護の回収が0となっているが、ケアマネジャー向けアンケートの中で介護保険事業所アンケート分の内容を一緒に記載されているような回答もあった為に正確な数値となっていない。ケアマネジャー向けアンケートの総数は45。うち有効回収総数は28となっている。

【在宅医療・介護連携に関する事について伺います】

共通質問 1 現在、他の事業所との連携はできていますか？		回答数	構成比	
1	十分できている	17	18%	
2	概ねできている	59	63%	
3	あまりできていない	16	17%	
4	できていない	1	1%	
5	未回答	1	1%	
		計	94	100%

共通質問2 現在、よく連携している事業所は？(最大3つまで)		回答数	構成比	
1	病院	37	15%	
2	一般診療所	16	6%	
3	歯科診療所	9	4%	
4	薬局	7	3%	
5	訪問看護ステーション	21	8%	
6	居宅介護支援事業所(ケアマネ)	75	30%	
7	介護老人福祉施設	8	3%	
8	介護老人保健施設	4	2%	
9	訪問介護事業所	10	4%	
10	通所介護・リハ事業所	12	5%	
11	短期入所生活(療養)介護	3	1%	
12	有料老人ホーム	21	8%	
13	地域包括支援センター	23	9%	
14	行政	3	1%	
15	その他	3	1%	
16	未回答	1	0%	
		計	253	100%

共通質問3 連携をとりやすい職種は？(最大3つまで)		回答数	構成比	
1	医師	26	12%	
2	歯科医師	0	0%	
3	薬剤師	4	2%	
4	看護師	33	15%	
5	歯科衛生士	3	1%	
6	保健師	0	0%	
7	ケアマネジャー	80	37%	
8	管理栄養士・栄養士	2	1%	
9	社会福祉士	2	1%	
10	医療ソーシャルワーカー	24	11%	
11	介護福祉士	8	4%	
12	ヘルパー	20	9%	
13	リハビリ職	12	6%	
14	その他	0	0%	
15	未回答	1	0%	
		計	215	100%

共通質問4 連携を取りやすい理由は？(最大3つまで)		回答数	構成比
1	職種の専門性を理解している	40	16%
2	患者(利用者)の症状等の共有ができる	69	28%
3	役割分担が明確	27	11%
4	目的が一致している	36	15%
5	相談しやすい環境ができています	49	20%
6	連携の経験がある	21	9%
7	その他	1	0%
8	未回答	3	1%
	計	246	100%

共通質問5 連携をとりにくい職種は？(最大3つまで)		回答数	構成比
1	医師	43	25%
2	歯科医師	20	12%
3	薬剤師	17	10%
4	看護師	5	3%
5	歯科衛生士	9	5%
6	保健師	18	11%
7	ケアマネジャー	6	4%
8	管理栄養士・栄養士	14	8%
9	社会福祉士	3	2%
10	医療ソーシャルワーカー	9	5%
11	介護福祉士	1	1%
12	ヘルパー	2	1%
13	リハビリ職	4	2%
14	その他	6	4%
15	未回答	13	8%
	計	170	100%

共通質問6 連携をとりにくい理由は？(最大3つまで)		回答数	構成比
1	職種の専門性の理解がない	4	3%
2	患者(利用者)の症状等の共有ができない	10	8%
3	役割分担が明確でない	6	5%
4	目的が一致していない	5	4%
5	相談しやすい環境ができていない	43	33%
6	連携の経験がない	39	30%
7	その他	9	7%
8	未回答	16	12%
	計	132	100%

共通質問7 今後、連携したい事業所は？(最大3つまで)		回答数	構成比
1	病院	43	21%
2	一般診療所	13	6%
3	歯科診療所	7	3%
4	薬局	13	6%
5	訪問看護ステーション	10	5%
6	居宅介護支援事業所(ケアマネ)	28	14%
7	介護老人福祉施設	5	2%
8	介護老人保健施設	8	4%
9	訪問介護事業所	4	2%
10	通所介護・リハ事業所	12	6%
11	短期入所生活(療養)介護	1	0%
12	有料老人ホーム	11	5%
13	地域包括支援センター	21	10%
14	行政	14	7%
15	その他	1	0%
16	未回答	14	7%
計		205	100%

【ケアマネジャーとの連携に関する事について伺います】

共通質問8 必要に応じてケアマネジャーとの連携はできていますか？		回答数	構成比
1	十分にできている	24	26%
2	概ねできている	61	65%
3	あまりできていない	4	4%
4	できていない	2	2%
5	該当なし	0	0%
6	未回答	3	3%
計		94	100%

共通質問9 患者（利用者）に生活状況について家族以外の誰から情報を得ていますか？		回答数	構成比
1	ケアマネジャー	84	57%
2	訪問看護師	9	6%
3	訪問看護員	25	17%
4	主治医	14	9%
5	その他	13	9%
6	未回答	3	2%
計		148	100%

【医療と介護に関する研修について伺います】

共通質問 1 1 医療と介護の連携に関して今後どのような研修を望みますか？

ご自由にお書き下さい

・他職種の顔の見える関係づくり（包括）
・症例を通じて具体的な連携方法を検討（訪問看護）
・グループワークを通じての事例検討（訪問介護）
・連携がスムーズにできる環境づくり（通所リハ）
・一人の利用者様の自立支援について、どのような連携の場、方法がもてるか、という事について話をききたい（通所介護）
・退院後のリハビリの継続や、緊急時の対応（通所介護）
・医療スタッフと介護スタッフのシンポジウム。入院→退院→ケアプランの一貫性のなさを感じる（通所リハ）
・他職種連携会議、研修会など（通所介護）
・看取り、在宅ケア（看取り、救急対応、リハ）、代替できるリハ（グループホーム）
・短期入所は医療との連携は大事なので医療の相談員と一緒に研修等があると交流もできて良いと思う（短期入所・介護）
・医療では当たり前でも介護ではできていない事が多々あるように感じます。医療行為はできなくても各施設等のレベルを上げるように全体的な研修を行ってほしい。市単位ではなくもっと細かな地域別にわけての研修を望みます。また、ケアの技術だけではなく、心のケア、関わり方、スタッフの目線を利用者に向けてほしい。すべてのスタッフが参加できるよう回数や地域を増やしてほしい（訪問看護）
・在宅での看取りについての研修。他職種連携の研修（訪問介護）
・地域の介護と医療の情報の共有の流れについて（地域特養）
・病気と薬について、副作用について（訪問介護）
・お互いの現場の実態について自由に話し合えるような研修を望んでいます。時間帯は18時以降。（訪問介護）
・入退院時に互いに必要な情報について検討したい（訪問介護）
・医療者が求めるより良い介護とは？（地域密着デイ）
・用具の貸与等でその新製品の情報伝達は文章で東京や大阪、熊本では市内などはあるが、郡部になると地元での研修会等はないので研修会が欲しい。時間も夜ではなく日中の方がいい。（福祉用具）
・医療関係者の方から連携の在り方についてご意見を頂きたい。（スムーズな連携手段・方法）（通所介護）
・事例検討（介護事業所視点）などのグループワーク。他職種の意見を聞きたい（通所介護）
・介護施設では治療が難しく、入院が必要になる疾患の症状など。例）肺炎、心不全、CVA、尿路感染、イレウスなど。バイタルサインの変化や痛み、症状などに具体的に学びたい（グループホーム）

・介護職の行う医療行為について（訪問介護）
・医療面からみた介護（ケア）の取り組み方法（通所介護）
・具体的にどのような連携が可能か？事例研修（通所介護）
・医療と介護の連携において良好な結果を出した症例のケーススタディ。様々な問題点を解決していったプロセスなどを知りたい（訪問看護）
・誤飲、誤食について（通所介護）
・認知症及び精神疾患の分類とそれぞれに適した対処の仕方をすぐに相談できる体制づくりや研修（認知デイ）
・互いに制度を理解したうえでの研修を行って頂きたい（グループホーム）
・緊急対応、ターミナルケア（グループホーム）

【医療と介護の連携に関する事について伺います】

共通質問 1 1 医療と介護の連携に関して今後充実してほしい施策や連携について 日頃感じていることなどありましたらご自由にお書き下さい

・医療系は介護から見ると敷居が高く感じる（包括）
・自分の事業所以外の交流が無い。地域で支え合うと言われても難しい。他事業所間の横の繋がりが無い為、この地域の事業所施策報告等あれば他施設の理解も深まるのではないかと感じています（通所介護）
・施設で医療面を主にみてもらう看護師の採用が難しくなっている。まずは顔合わせ的な場があると嬉しいと思います（訪問看護）
・病院と施設の食事の形態ややわらかさ、硬さの表現方法を統一（特養）
・各事業所の連携窓口の明確化（訪問看護）
・定期的な研修機会が欲しい。医療から介護への連携パス。在宅生活移行の医療連携によるアフターケア。ワンストップ型の相談窓口があれば（訪問介護）
・迅速な連携のとれるシステムの充実化（通所リハ）
・家族へ病院受診を促すと、仕事等の理由からいられない事が多い。どのように病院受診に繋げていけばいいのだろうか？（通所介護）
・医療側のスタッフは退院後の患者さんの生活イメージを持つ事ができない。介護場面における「自立支援」について理解が希薄。介護側のスタッフは入院中に対象者がどのようなリハビリなど受けてきたのかを把握していない。その連携が必要だと思う（通所リハ）
・他職種が持っている患者（利用者）の情報は互いに断片的なものとなってしまうがちで提供する医療や介護が適切でなかったり遅すぎたりすることもあり。十分な連携が図れているとはいえないのが現状ではないかと感じています（通所介護）
・ふれあいサロンなどは引き続き続行してほしい。サロンの送迎バスや、ボランティアの人が増えてほしい訪問診療のHPがもっと増える事で在宅ケアの方は増えると思う。介護者にできる医療行為が増えてほしい。（点滴抜針、浣腸、胃ろう注入など）（グループホーム）
・医療と介護の直接的な関わりがもう少し持てたらと思います（福祉用具）
・事業所が一緒だと連携はとりやすいが外部になるとお互いの仕事が見えないのですれ違いが多くなります。PC等で一人の利用者の情報がわかれば良いなと思います（訪問看護）

<p>・精神疾患のある高齢者への支援。有料老人ホーム入所中に不穏が続いた時にホーム側は入院させてほしい医療側はまだ必要がないと言われた時にとまどう時がある（訪問介護）</p>
<p>・地域での交流会等から皆が集まる機会があればと思います（SS介護）</p>
<p>・退院時のカンファレンスなど、病院へ直接お電話をしてお聞きする事が難しいのでケアマネさんに連携してほしい（訪問看護）</p>
<p>・宇城管内での医療や介護に関するリアルタイムな情報がほしい（訪問介護）etc・・・感染症情報など</p>
<p>・医療機関から在宅に退院した時に医療機関からみて連携がうまくいかなかった事などあったら教えてほしい。どこが良くてどこが悪かったのか考え、今後の参考にしたい（訪問看護）</p>
<p>・緊急を除いた、受診時における待ち時間や順番が解かるようにならないか？介護保険等の更新時に作成される主治医意見書の写しを頂けないか？（訪問介護）</p>
<p>・他職種の情報共有が難しい（地域密着デイ）</p>
<p>・医療、介護業務共に日々の業務が多忙であって特に病院スタッフの方々と連携は難しい。今後は間接的に連携がとれるツール（書式）の使用等を検討してはどうかと思う（通所介護）</p>
<p>・個人病院の医師と有料老人ホーム等の連携、ちょっとした救急時に電話をしてもらったり往診に来て頂いたりと気にかけて頂くと関わりが持ちやすい。（通所介護）</p>
<p>・痰吸引、実施研修の取得についてのかかる費用の補助。実施研修場所の増加（通所介護）</p>
<p>・各医療機関との連携がとれている（グループホーム）</p>
<p>・看護師が不在時に緊急時の痰の吸引等の対処をどのようにすればいいのか？その為の講習をなどがあれば。終末期における医療と介護の在り方を再度考えたい（訪問介護）</p>
<p>・通所で外部の利用者様に関しては日頃の状況、状態が解からない（伝わりづらい）面が多々あります（通所介護）有料併設のデイ？</p>
<p>・空床利用の為、事前に予約ができない事が多い。（SS医療）</p>
<p>・医療と介護について何が出来て、何が出来ないかを具体的に知りたいと思っている（通所介護）</p>
<p>・事業所がどのような情報提供を必要としているか、再確認できれば良いかと思います。現在、サービスを必要としている人にだけでなく、今後、利用するかもしれない世代へ向けても、より周知できるような施策を期待しています（訪問看護）</p>
<p>・制度改定時に内容？？？うか（グループホーム）⑤</p>
<p>・事業所⑫（グループホーム）もしているのですが、医薬品販売も兼ねています。また、高齢者のおしゃれ意識の向上等にも協力頂いていますが、事業所への仕事は居宅介護支援事業所のみで働きかけが悪いのでしょうか？全く声がかからず悩んでいます。施策内容とか連携について如何したものか？このままこの地区で仕事をやっていく事が良いのかわからない状態です。大手事業所が何事も優先の世の中ですね</p>